

なかつか 亮



共働きでも×に焦る保護者 品川の「保活」事情

保育園の待機児解消は認可園増設こそ必要

今年も認可保育園の入園相談が増えています。共働きでも入れないケースがおきるなか、お母さん方の間では「入園するにはどうしたら良いのか」と悩み、「口コミ」や「インターネットブログ」などで様々な入園情報が錯綜。いま品川区の子育て現場に異常事態がおきています。

今年も、来年4月に向けた認可保育園の入園相談が急増。品川区の入園相談窓口（保育課）には、多くの保護者が子どもを抱きかかえながら入園申請。整理券用を発行する機械も設置されています。

「保活」と呼ばれる保育園に入園するための活動（情報収集）はいっそう過熱し、少しでも多くの情報を得ようと、インター



写真は昨年の保育園入園相談会の様子。中央がなかつか亮です。

と検索すると、次に出てくるキーワード一位：「コツ」、二位：「準備」。

ブログ上では「切実です！保育園入園の優先順位について教えて下さい」「保育園の入園審査に通るコツを教えてください」「仕事をしたい」「先輩ママ方へ保育園入園のタイミング&方法」などの情報であふれています。

「インターネットでは、検索エンジンでは、「保育園」「入園」

「焦る保護者の姿。まさに子育て現場は異常事態です。裏へ

今年4月、487人が入園できず

共産党の区議控室（品川区役所六階）では入園相談の電話。「保育園に入るには、どうしたら良いのですか」と話が始まります。

今年の4月、認可保育園に入れなかった方は487人。うちフルタイム共働き家庭は47人。就職内定が決まった方など求職中は138人もいました。既に「共働きでもダメ」「仕事の内定が決まってもダメ」というケースが区内で起きています。

保育園に入れず仕事を失う時代

来年4月に0歳児入園を希望するお母

さんは「私の場合は、何とか来年4月からパートの内定がもらえたが、ほとんどのお母さんは保育園に入園してないと仕事は決まりません。私もこれで入園できなければ、せつかく仕事が見つかったのに先方に断らなければいけない」と話します。

別の方は「友だちは育児休暇を短縮して4月入園を目指す。別の友達には先に認証保育園に入れておく」と認可園入園が有利だからと、わざわざ育休を短縮して認証保育園に入園。その上で4月入園を目指す。私はというと派遣をやっていたので本部に言われるがま

ま契約を切られ今の身分は求職中。保育園に入れない状態に焦るばかり。育児ノイローゼと言うより、保活ノイローゼになりそう」と話します。



認可保育園に入ること、こんなにも悩む状況は、どう考えてもおかしいと思います。保育園に入れず仕事を失う時代とは、政治の責任は重大です。

認可園の増設を

この事態に品川区は相変わらず「待機児解消に向けた認可園増設は、将来の財政負担になる」と、新たな公設認可園の増設を拒否。区議会と党も区を支持し

「待機児対策は認可園増設によらず定員拡大などで」と主張。保護者らの認可保育園増設を求める請願署名に、自民、公明、民主ら与党は反対し続けています。

区議会でも認可保育園の増設を求めているのは共産党だけ。いま必要な事業に必要な予算をつけることは当然のことです。12月9日から区議会が開催。改めて認可保育園の増設を求めます。議会傍聴もぜひ。なかつか亮

☆ちなみに認可保育園入園×切は1月7日。発表は2月21日。ギリギリの申請は窓口が混雑しますので、ご相談はお早めに。

日本共産党

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

12月17日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**